

令和五年度後期日程入学試験【小論文A】(人文社会科学部 人間文化学科)
模範解答例

問題一

問一 ㉠洞窟 ㉡欠乏 ㉢奇怪 ㉣暇(閑) ㉤刻印

問二 森は単なる木の集まりではなく、聖なる領域であり、そこへ入れれば日常的な現実とはちがう何かを体験できる世界だととらえる感覚。(六〇字)

問三 氷河期の人間が氷河にとざされた寒い地方から赤道の近くまで逃げながら、森のなかで木の実や獣たちを食べて生活していた記憶。(五九字)

問四 (二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。)

採点基準

- 一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。
- 一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。
- 一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。
- 一、文字表記が明瞭かつ正確であること。(誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。)

問題二

問一 人間は本来、他人の面倒を見たりせず私腹を肥やしたいと思う利己的な生き物であるため、災害時にはその性質をより顕著にした行動を取ると信じられているということ。(七七字)

問二 (二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。)

採点基準

- 一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。
- 一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。
- 一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。
- 一、文字表記が明瞭かつ正確であること。(誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。)